

はびきの市民大学だより

学長コラム【第 51 回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)



「大阪は江戸時代から天下の台所と呼ばれた」と歴史の教科書にはよく記されているけれども、これは間違いである。

「天下之台所」と直接記述した文献は存在せず、大正時代に幸田成友（幸田露伴の弟）が『大阪市史 第二』等の叙述で用いた言葉が一般に広まっていったのである。それがあたかも江戸時代から当然のように存在したと誤解されてきた。

日清日露の戦争から第一次大戦にかけての好況で経済都市としての性格をつよく意識するようになり、それが固定観念ともなって、文化都市・情報の中枢都市といった多元的な性格を標榜しなくなったことが、都市のグレードを低下させてきたのではあるまいか。「思い込み」が大阪の前途を狭めてきたともいえる。

大阪は古代には国際的な港町（難波津）であり、何度か首都（高津宮、難波宮…）にもなった。中世には四天王寺（日想観…）や大坂（石山）本願寺が宗教都市の相貌を呈した。近世初頭（豊臣時代）には政治首都となって、江戸時代には商都となり文化都市（文芸、演劇、学芸…）としてもおおいに栄えた。

単なる経済都市ではなかったのである。

学習情報室に新しく入った本のご案内

2階学習情報室に、単位認定講座(中期)に関連した本が5冊入りました。すべて羽曳野市内の図書館に所蔵されていない図書になります。貸出サービスはございませんので、室内でご覧ください。

講座名	関連図書名
⑧ 美術の輝き	柔らかな春の海—銅版画詩画集 〔安井寿磨子/著 遊タイム出版〕
⑨ ゲームの文化史 —遊んで学ぶ伝統ゲーム—	じゃんけんのすべて: ルーツ・語源・世界のじゃんけん 〔赤穂徹也/著 22世紀アート〕
⑩ 巨大古墳の被葬者を考えるⅡ	古墳の古代史: 東アジアのなかの日本 (ちくま新書) 〔森下章司/著 筑摩書房〕
⑪ 近世日本を代表する劇詩人～近松門左衛門三百回忌	曾根崎心中 冥途の飛脚 心中天の網島 現代語訳付き (角川ソフィア文庫) 〔近松門左衛門/著 角川学芸出版〕
⑫ 古文書から学ぶ地域の歴史 近世の古文書の世界【2】	古文書に見る江戸犯罪考 〔氏家幹人/著 祥伝社〕

インターンシップへの意気込み

四天王寺大学からインターンシップ生として参りました。荒木と申します。

私は将来、中学・高校の教員を目指しています。はびきの市民大学では、高等教育機関との連携、様々なジャンルの講座を開講していると知り、生涯学習を通して教員としての心構えと、スキルを身に付けることができるのではないかと思います、希望しました。

今回のインターンは5日間であり、講座のための設営、オータムコンサート・特別講義の準備、企画の立案などを体験させていただける予定です。特にオータムコンサートが大きなイベントで設営・準備、スタッフとして柔軟に対応できるか不安な気持ちでいっぱいです。しかし、学生であることを言い訳にせず、はびきの市民大学に貢献できるような働きをしようと意気込んでおります。

私はこのインターンシップで目標を掲げています。それは、「主体的に挑戦する」です。理由は、普段大学やアルバイトでは言われたことを言われた通りこなすだけで、ロボットのように行動している自分から脱却したいからです。また、大学の講義でスピーチをする機会があったときに、勇気が出ず、手をあげることができないことが何回もありました。そのような、自分に対しての否定的な気持ちを取り払い、今回の活動で主体的に行動できる人間になりたいです。そのために、このインターンの事前面談で「企画を立案する体験がしたい」と希望しました。企画の立案は未経験ですが、より良いものが創れるよう全力で取り組みます。

インターンシップの担当者様に希望に沿った予定を立てていただきました。なので、充実した時間を過ごせらるうと楽しみにしています。その恩を返し、掲げた目標を達成できるように5日間精進してまいります。一人で慣れない環境に身置くという、大学ではできない貴重な体験の中で、なるべく多くの学びを持ち帰りたいと考えております。

インターンシップを終えて

5日間のインターンシップです。

1つ目は、思いやりです。惑をかけないようにしようとやりが足らず注意を受けてし日、ある講座の準備中、そのた道具を勝手に触ってしまっ配布するもので、「早く配らた。初対面の者に、所有物をた、勝手に触るということです。これからは、ひと言声



プを終えて、感じたこと学んだことがあります

学生を言い訳に、社員の方々に頼らず、迷意気込んでおりました。しかし、私の思いまいました。なぜなら、インターンの初日授業をしてくださる先生が持参されていたからです。その道具というのは受講者にはないと」という気持ちで焦っておりました触られると不安になるのは当たり前で、まは、傷・故障が起きた時に責任も生じてきを掛けてから行動しようと反省しました。

2つ目は、企画立案の大変さです。このインターンで一番気合を入れて取り組んだのがはびきの市民大学で実施する講座の企画立案です。最初は、自分の好きなことや興味のあるものを中心に案を出していき、そこからターゲットや、その講座がどういう価値を生み出すのかを考えました。しかし、より良いもの、受講者に楽しんでもらおうと考えると、予算オーバーや規模が大きくなって実現するのが難しくなります。最終的に、二つの企画を提出しました。両方、不十分なところや、ターゲットの受講者が集まるか曖昧だったため実現することはできませんでした。ですが、今回の反省を生かし将来の仕事につなげたいと思います。

3つ目は、達成感です。私はオータムコンサート・特別講義という大きなイベントに、初めて主催者側として活動しました。多くの影の努力・苦労があるからこそ、コンサートが成り立っているのだと改めて学ぶことができました。その一員に加われたことを大変光栄に思います。

これらが、今回のインターンシップを終えて感じたこと、学んだことです。

5日間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里 1 丁目 1 番 1 号 LIC はびきの内
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分～17時30分(2階学習情報室 9時30分～16時30分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。 ※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
※情勢により、感染予防対策をお願いする場合がございます。ご理解、ご了承のほどお願いいたします。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

ご個人情報の取り扱いについて

- ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に管理いたします。また、株式会社みのりの里「個人情報保護方針」のもと適切な取り扱いを致します。
- ご提出いただきました個人情報は、はびきの市民大学事務局が主催する講座の運営、受講生募集を行う目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご提出いただきました個人情報は、次の場合を除き、ご本人の同意なしに第三者に提供することはありません。
(1)講座実施にあたり、講座を担当する講師または講座委託会社に受講者のお名前、年代、性別、受講履歴を提供すること。
(2)公的機関からの法令に基づく照会を受けた場合。

はびきの市民大学

検索

